

令和4年6月1日  
北海道医薬専門学校  
校長 金田英司

## 令和3年度 自己点検・自己評価について(総括)

### I 本校における自己点検・評価の取り組みについて

平成19年の学校教育法及同法施行規則の改正の主旨に則り、令和2年度の自己点検・自己評価の結果を公表いたします。

令和3年度においても年度当初から新型コロナウイルス感染拡大の影響で臨地実習が校内実習に、また対面授業をリモート授業に変更するなど教育活動に大きな制限が課せられ評価ポイントが落ち込んだものと考察します。しかしこのような環境のもとでも職員と学生がともに助け合っただけで学園生活を送った結果、就職率や検定合格率、そして国家試験合格率は例年以上の高水準を出すことができました。

今後も本校における教育サービスの現状を御理解いただき、教育の質の向上に資するよう御助言いただけましたなら幸いです。

### II 令和3年度自己点検・自己評価より

評価基準(4 十分達している、3 概ね達成している 2 改善の余地あり 1 検討が必要)

#### 【前回→今回】

#### 1 教育理念・目的・育成人材像等

(1) 理念・目的・育成人材像など学科の特性が明確になっているか

##### 【3.35→3.31】

学園の創立の精神である「熱意」「決意」「創意」に基づき、本校の教育理念や人材育成方針等は、年度始めの職員会議、講師会議等で共有し、入学式や各学科のオリエンテーションなど学事行事においても学生及び保護者へ説明しております。また、入学を希望する高校生やその保護者等には、オープンキャンパスやホームページ等で公開しています。

(2) 各学科の教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか 【3.30→3.40】

学園の教育理念や教育目標については、教育課程の編成において業界のニーズに応える人材育成、各学科における育成すべき学生像を明確に策定しています。また、「教育課程編成委員会」で各業界からの情報や本学園の教育内容の助言をいただき、求められるプロの人材養成を目標に

掲げた教育活動に反映させています。

## 2 学校運営

### (3) 目標等に沿った学科運営方針が明確になっているか【3.25→3.18】

年度末に学科長による令和4年度の教育課程編成に係るプレゼンテーションを行い各学科の教育目標・運営方針等を策定するなど、カリキュラム・マネジメントの充実を図りました。また自己評価の結果から学校運営課題を明確にし、学科や分掌で組織的に改善策を検討する組織改革をしました。さらに、運営基盤となる学校の運営組織については、令和4年度から新たな「組織図」を策定し、事業目標と業務計画を定め、分掌運営を行っていきます。

### (4) 教育活動に関する情報公開が適切になされているか【3.20→3.27】

教育活動に関する情報公開は、本部広報と連携を取りながら基本的にはホームページで状況を公開しています。また、SNS上でも受験生に分かりやすく、学生の活動や的確な情報を可能な限りリアルタイムで発信しています。さらに、全道の高等学校に配布する学校案内ではより詳しくカリキュラムの特色や就職状況等も公開しています。

## 3 教育活動

### (5) 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が示されているか。

#### 【3.25→3.40】

本校の教育方針の一つに「医療・薬業業界の就職に直結したカリキュラムで指導します。」とあり、学科毎に国家試験はもとより教育課程編成委員会の助言等を踏まえて、より実践的内容を含んだ教科・科目を配置しています。また、各学科とも臨地実習やインターンシップ等を活用した教育課程を編成し職業教育を実践していますが、コロナ禍で十分な取り組みには至りませんでした。

### (6) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

#### 【3.40→3.50】

成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は学則に従い、各学科の特性を踏まえながら細則を定め基準を明確にしています。昨年の課題であった実習等の評価の観点、客観性を持たせ、具体的な取り組みを評価することで単位認定に結び付けることができました。今後も学科毎に一層の評価基準の研究を進めて参ります。

### (7) 資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか【3.15→3.40】

資格習得や検定合格は本校教育の最大の目標であり、国家試験合格を

目指す2学科（看護学科、診療放射線学科）は勿論のこと薬業学科、医療事務学科、保育学科でも取得できる検定名を募集要項等に明記し、取得のために適切な教科、科目の配置をしています。さらに、取得困難な検定等については、1年間をとおして補講計画等を策定し資格取得率の向上に努めています。特に令和3年度は診療放射線学科で技師国家試験全国平均を大幅に超える96.4%に達し、看護学科では看護師国家試験合格率2年連続100%を達成しました。

- (8) 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる指導体制を確保しているか【2.90→2.90】

教職員採用時には、職業実践専門学校の基本である職業教育にふさわしいキャリアを積んだ実績・成果を重要視しています。しかし、教員としての資質向上を目指した校内研修の充実と関係団体主催の研修への積極的な参加が課題となっています。令和4年度から新たに「人材開発委員会」を組織し、学生による授業アンケートの実施や定期的で計画的な校内研修の実施を図ってまいります。

#### 4 学修成果

- (9) 就職率の向上が図られているか【3.50→3.50】

本校では、無料職業紹介事業所としての認可を受け、本校独自の求人開拓により収集された求人情報について、進路指導部を通じて学科・学生に公開しています。また、定例の会議で求人動向及び内定情報、企業の求人充足状況などを共有及び討議しています。併せて、就職決定率については随時、ホームページ等を通じて公表しています。令和3年度においても全学科で就職決定率100%を達成しております。

- (10) 退学率の低減が図られているか【3.35→2.90】

学校全体の退学率は、徐々に増加傾向にあります。心のケアが必要な学生や成績不振の学生のサポート等の充実が課題となります。

予防策として担任制を導入し、保護者との連携を密にして、学科毎入学後早々に学校生活の適応を目標とした学生相談の実施、また学生の心身の変化に気を配り日常的に教育相談を行なうなど学生理解に努めてまいります。

#### 5 学生支援

- (11) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか【3.30→3.36】

各学科には就職係を配置して就職ガイダンス、就職希望調査、就職面談、就職活動セミナーや企業研修の指導を行っています。また、全学科

の進路・就職に対しての基本方針は求人企業と学生の希望を重視し、本人が望む最適な就職先が選定できるよう、相談指導等を定期的実施しています。

(12) 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか【3.15→3.27】

本校独自の各種奨学金や学費等支援制度(給付型)を充実させ、入学する学生の負担軽減になるよう常に見直しを図っています。また、国や地方自治体の支援制度の種類も増加しており、積極的な活用を促すと共に、返済を見据えた利用の方法も指導しています。さらに授業料分割制度も実施しています。

## 6 教育環境

(13) 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか【3.00→2.81】

実践的学習環境の整備のためには、実習施設の確保は必須です。本校では、各学科で教育課程に沿った実習施設の導入を計画的に推進し、充実を図っています。しかし、他の医療関係大学の拡充や定員増に係り、実習先の確保の競争が激しくなっております。江別方面等に範囲を拡大して実習先を確保している現状です。また、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた臨地実習が突然中止になり、学内実習に切り替えるための準備等に苦慮したケースが多々あり、実践的な職業経験は不十分な状況です。

また、毎年薬業・医療事務学科の海外研修を冬季休業中に実施していましたが、これも中止といたしました。

(14) 防災に対する体制は整備されているか【3.10→2.95】

新校舎移転(平成24年)とともに耐震構造基準を満たし、新たな防災設備の設置や管理体制の組織化を図り、定期的な点検も実施しています。防災教育においては、年に一度火災、地震、消火活動等の観点から、防災訓練を実施して教職員や学生へ一人一人の防災意識向上に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、屋外への避難行動訓練は2年間できていない現状で、防災に関する啓蒙活動に留まっております。実施形態の改善を一層進めて参ります。

## 7 学生の受入募集

(15) 学生募集活動は、適正に行われているか【3.35→3.33】

学校案内と募集要項を刷新して、年度初めに全道の高等学校等へ配布しています。ホームページ上やSNS等でも公開し、出願方法や各種入試

制度を分かりやすく説明しています。また、広報部を通じて、学生募集に関する適切な情報を発信しています。少子化の中、厳しさは増しますが教育理念の下、学校をあげて取り組んで参ります。

- (16) 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか

**【3. 15→3. 28】**

毎年、高等学校訪問を計画的、組織的に実施して、就職や資格取得状況等を報告しています。また、志願者が集まるオープンキャンパス、及びホームページなどでもリアルタイムで情報公開するなどしています。ただし、令和3年度はコロナ禍で計画どおり学校訪問を実施できませんでした。

今後も学校訪問の在り方と社会状況の変化に対応できる ICT の有効な活用について更に研究を深めて参ります。

## 8 財務

教職員が直接関係する項目でないという考えから、意識が薄いと感じます。しかし、学園の運営状況を知ることは職員として必要なことから、来年度は学科や学園全体の収支、運用等についてホームページで閲覧できるため、状況把握をさせていきたいと考えています。

- (17) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか **【2. 94→3. 05】**

令和元年度より透明性の確保のため、財務関係の公表をホームページで実施しています。日本私学共済事業団が示しているキャッシュフローの推移を参考指標としており、長年無借金経営を継続する健全中長期の財務基盤が安定している経営状況となっています。

- (18) 財務について会計監査が適正に行われているか **【3. 17→3. 28】**

学校法人の会計処理を遵守して、監査法人による会計監査を年3回実施するとともに、併せて、学園監査も実施しており、財務については適正に執行されているとの評価を頂き、その内容をホームページ上で公開しています。

## 9 法令の遵守関係.

- (19) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか **【3. 30→3. 00】**

「美専学園個人情報保護基本方針」を定めて、個人情報の保護に万全を期しています。個人情報保護法に基づき、出願者、入学者、学生はもとより、講師を含めた教職員の個人情報等に関しても、情報管理の一元化や管理体制を統一しております。しかし、まだ意識の低い職員がいることは確かです。管理職対応で指導の強化を進めます。

10 社会貢献・地域貢献

- (20) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっているか。【0.00→0.00】

コロナ禍のため実施できず評価不可

- (21) 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか。【0.00→0.00】

コロナ禍のため実施できず評価不可